福岡水害時　～　北九州市の場合

北九州市消防局
白石　明彦

１．はじめに

平成１１年６月２９日、九州北部から中部地方へかけて激しい雨が降った。この豪雨により福岡市では、ＪＲ博多駅一帯が冠水し、地下街に多量の濁流が流れ込み、１人が溺死するといった痛ましい災害が発生した。

また、広島県では県内各地で相次いで土石流・がけ崩れによる土砂災害が発生し、３２名（死者３１名、行方不明者１名）の方々が犠牲となった。

２．北九州市の状況について

（１）気象状況

雨が降り始めた６月２３日から２９日までの累積雨量は３５６ミリ、６月２９日の日雨量は１６７ミリ、時間最大雨量は５９ミリであり、特に６月２９日の午前中は、市内各区で１００ミリ程度の雨量があった。

（２）被害状況

６月２９日から３０日にかけての人的被害は死者１人、住家被害は半壊１棟、一部損壊１１棟、床上浸水５棟、床下浸水２０６棟、その他被害は田畑冠水２８４ha、がけ崩れ１２７箇所、道路冠水８３箇所、非住家浸水２１棟、河川溢水１７箇所等である。

（３）災害対応状況

本市は６月２９日７時００分に災害警戒本部を設置、同日１３時００分に災害対策本部を設置、同日１５時００分に災害警戒本部に移行、同日２２時００分に災害警戒本部を閉鎖した。

また、２０世帯５１人に避難勧告を発令、河川溢水対策のため自衛隊災害派遣の要請を行った。

３．その後の防災対策について

本豪雨災害による人的被害は、新幹線高架下の道路が冠水したため、乗用車が水没、運転手が死亡したものである。

そこで、市内の鉄道や道路の下をくぐり抜けている道路の調査を実施した。調査の結果、大雨時等に冠水した道路及び冠水のおそれがある道路は、計１９箇所であった。

本豪雨災害の教訓を生かすべく、冠水道路及び冠水のおそれのある道路について、普段から市民の方々に認識してもらい、大雨時等の通行に際して注意を喚起することを目的に、警告標識を設置した。

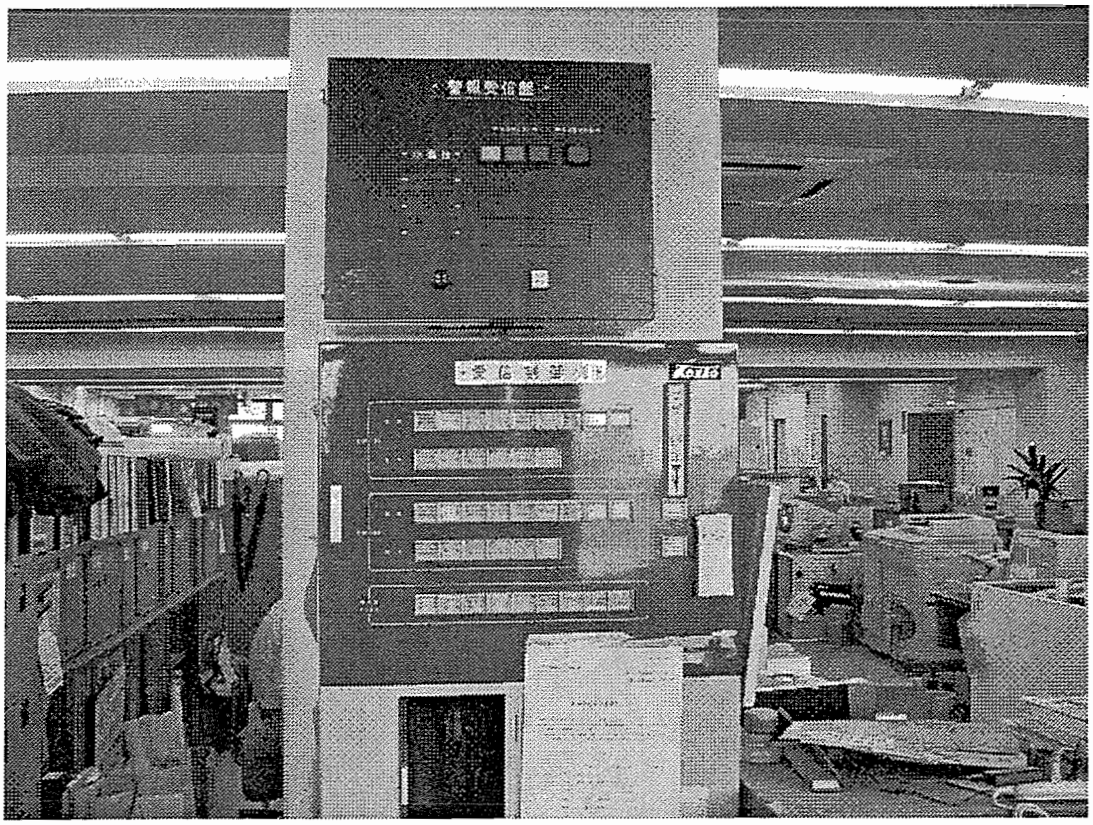
また、平成１２年度からは、道路冠水した場合に水位を検知し、自動的に通行止めの規制標識が表示されるシステムを、一部導入している。

平成１３年６月には、市内全戸に洪水情報マップを配布したところであるが、本マップには、冠水道路及び冠水のおそれのある道路の箇所を表示し、住民周知を図っている。

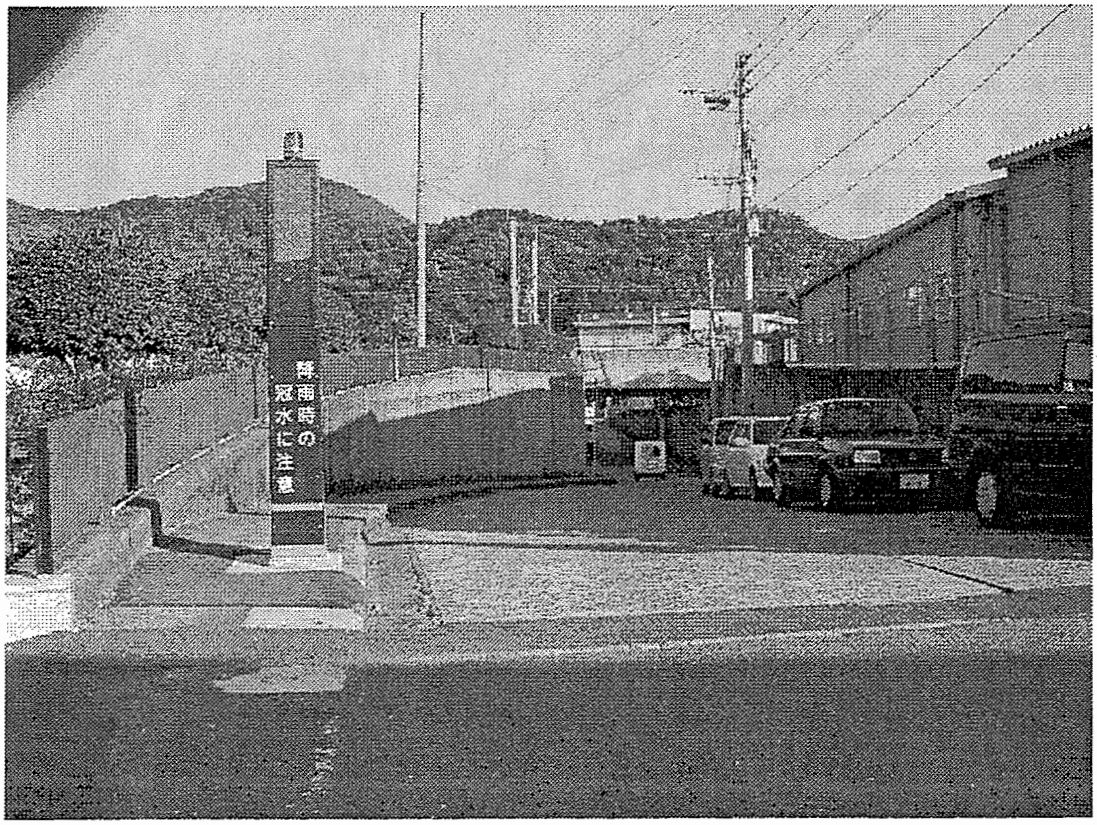
４．さいごに

今後とも、安全で安心な市民生活の確保のため、災害による反省と教訓を防災対策に反映させ、併せて日頃からの防災啓発活動の推進を図っていきたい。

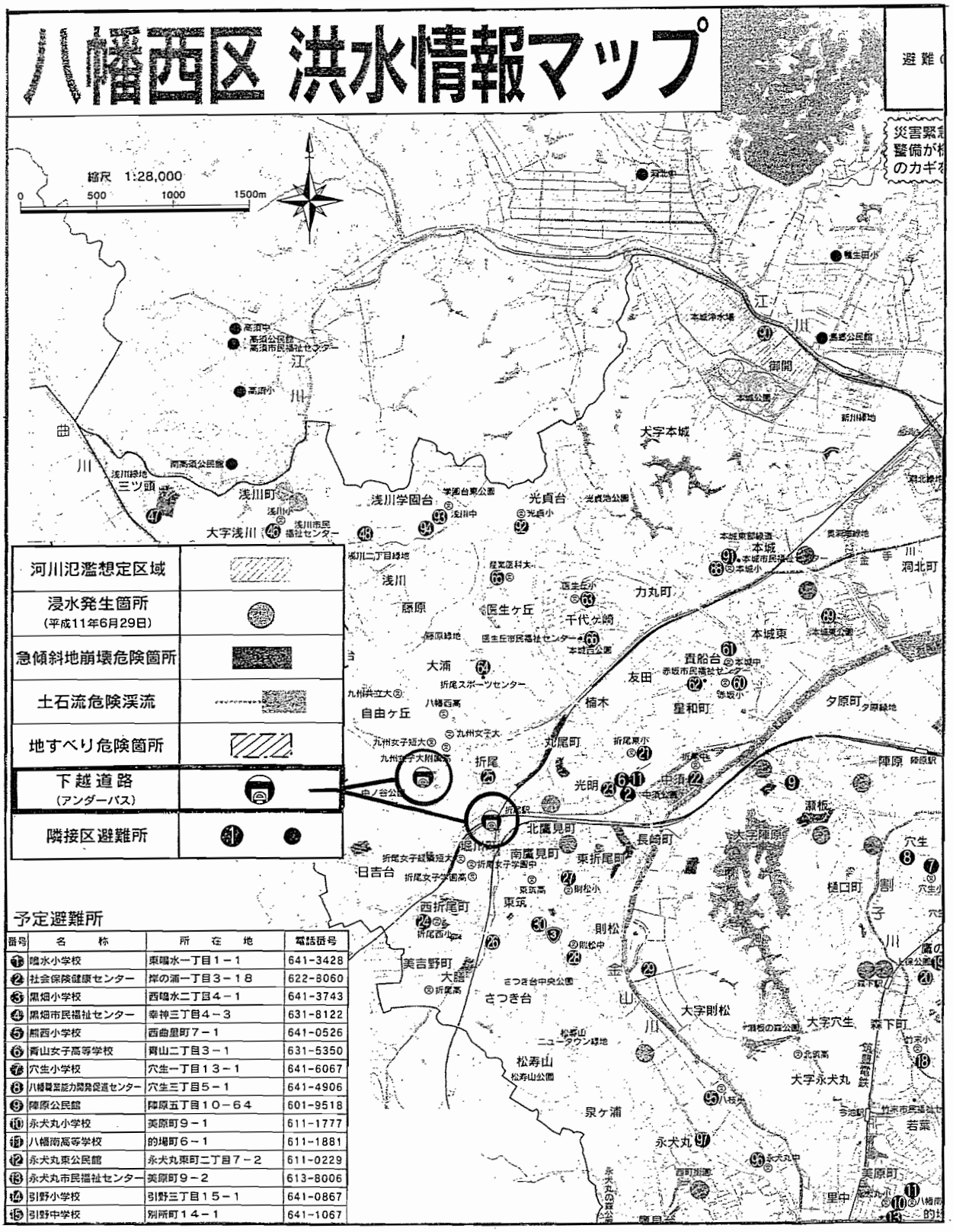
また、平成１３年１０月３０日、福岡市内で開催された「都市水害に関するシンポジウム」において、市町村の防災担当者として、本件を発表する機会を設けて頂きました九州大学大学院工学研究院の橋本先生をはじめ、関係各位の皆様方に、深く感謝の意を表しますとともに、本市の防災行政に御協力を賜りますようお願い申し上げます。



写真－１　アンダーパス部冠水警報システム電光表示板等



写真－２　アンダーパス部冠水警報システム警報受信盤



番号	名称	所在地	電話番号
1	鴨水小学校	東鴨水一丁目1－1	641-3428
2	社会保険健康センター	岸の浦一丁目3－18	622-8060
3	黒畑小学校	西鴨水二丁目4－1	641-3743
4	黒畑市民福祉センター	幸神三丁目4－3	631-8122
5	熊西小学校	西曲里町7－1	641-0526
6	青山女子高等学校	青山二丁目3－1	631-5350
7	穴生小学校	穴生一丁目13－1	641-6067
8	八幡職業能力開発促進センター	穴生三丁目5－1	641-4906
9	陣原公民館	陣原五丁目10－64	601-9518
10	永犬丸小学校	美原町9－1	611-1777
11	八幡南高等学校	的場町6－1	611-1881
12	永犬丸東公民館	永犬丸東町二丁目7－2	611-0229
13	永犬丸市民福祉センター	美原町9－2	613-8006
14	引野小学校	引野三丁目15－1	641-0867
15	引野中学校	別所町14－1	641-1067

資料－1　　北九州市八幡西区の洪水情報マップの一部